

年度 2008 学期 後期	曜日・校時 金曜・2校時	必修選択 必修	単位数 1
授業科目/(英語名)	ドイツ語IV GermanIV		
対象年次 2年次	講義形態 講義	教室	
対象学生(クラス等) 2P18・19	科目分類	外国語科目(ドイツ語)	
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室 担当教員:目 正勝 /Eメールアドレス:m79sakka@aol.com /研究室:(非常勤講師)			
担当教員(オムニバス科目等)			
<p>授業のねらい: 文法の基礎をさらに確実なものにして、応用段階へと進む。ドイツ語文の読解力や語彙を身につける。 ドイツの歴史や文化への理解を深める。</p> <p>授業方法: 中世から伝わる英雄叙事詩「ニーベルンゲンの歌」に触れる。教材は、現代ドイツ語の散文で書き直されたもので、特に英雄ジークフリートを取り上げている。平易なドイツ語文なので、どんどん読み進むことができる。多読の楽しさを味わうことができるだろう。 教室では、毎回 4～5 人の人に和訳をしてもらう。前もって割り当てておくので、当たった人はよく調べてこななければならない。独作文の練習問題を通じて、文法の理解を深める。</p> <p>授業到達目標: 辞書を引きながらでも、現代ドイツ語の文章で特に難解なものでなければ概ね読むことができるまでに力をつけること。</p>			
<p>授業内容</p> <p>後期は、教科書「ジークフリート」全 33 頁を読む。毎回 5～6 人の人に和訳をしてもらう。並行して、適宜文法の練習問題、独作文も。</p> <p>第1回 1～3 頁、和訳、文法の練習問題 第2回 3～5 頁、和訳、文法の練習問題 第3回 5～7 頁、和訳、不規則動詞の三基本形 第4回 7～9 頁、和訳、不規則動詞の三基本形 第5回 9～11 頁、和訳、接続法 第6回 11～13 頁、和訳、接続法 第7回 13～15 頁、和訳、独作文 第8回 15～17 頁、和訳、独作文 第9回 17～19 頁、和訳、文法の練習問題 第10回 19～21 頁、和訳、文法の練習問題 第11回 21～24 頁、和訳、完了形 第12回 24～27 頁、和訳、完了形 第13回 27～30 頁、和訳、独作文 第14回 30～33 頁、和訳、独作文 第15回 全授業のまとめ、定期試験</p>			
キーワード			
教科書・教材・参考書	教科書: 後期 「ジークフリート」 小栗友一 編 同学社		
成績評価の方法・基準等	○定期試験(約 90%)、および平素の学習成績、授業への参加状況(約 10%)を考慮して評価する。		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ /学習・教育目標			
備考(準備学習等)			